

平成28年11月17日

あきる野市議会議長 殿

会 派 名 あきる野市議会自民党

代表者名 奥秋 利郎



会派の（調査研究・研修）報告書

このことについて、下記のとおり実施したので報告します。

記

1 調査研究または 研修実施日	平成 28 年 10 月 6 日（木）～ 平成 28 年 10 月 7 日（金） 1泊 2日
2 調査研究または 研修の場所	1日目 福知山市立福知山市民病院
	2日目 美濃加茂市
3 調査研究事項 または研修名	1日目 地域の公立病院経営と地域医療について
	2日目 美濃加茂市アニュアルレポート公表について
4 参加者氏名 （ 1 名）	奥秋 利郎
5 調査研究または 研修の概要及び 感想等	別紙のとおり



視 察 報 告 書

視察場所 市立福知山市民病院
視察事項 地域の公立病院経営と地域医療について
視察日時 平成28年10月6日 13:00～15:00

市の概要 人口 79,695人

面積 552.57km²

病院の沿革 明治31年陸軍衛戍病院として創設

昭和20年国立福知山病院として発足

同 48年付属看護学校開設

平成 5年市立福知山市民病院として開設

平成 9年から、23年までの間、数々の指定、拠点病院として指定を受ける。

平成24年地域救命救急センターを開設

病院の概要

診療科目：内科、精神科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、心臓血管外科、小児外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、病理診断科、救急科

職員数：501人（うち医師64人、看護師292人、医療技術員112人、事務職員25人、教員8人）

病床数：354床（一般 340床・結核10床・感染症4床）

建物概要：鉄筋コンクリート造、免振構造、地上6階 塔屋1階

付属施設：付属看護学校、院内保育所、職員宿舎



病院玄関前にて



研修風景

病院経営のスパイラル

当該病院は、病院経営のサイクルでないスパイラルとしてとらえ、基本理念『命と健康を守り信頼される病院』の下、基本方針を

- 1、福知山地域における基幹的総合病院を目指します。
- 2、救急医療体制を充実し、いつでも安心して受けられる医療を提供します。
- 3、がん治療など高度な医療を推進します。
- 4、地域の医療・保険・福祉機関と連携を深め、地域医療の向上を目指します。
- 5、時代の変化に「対応し、患者さま本位の医療を実践します。

この五つの基本方針に1、病院施設の更新し、機能向上を図る。2、経営健全化とその持続。3、機能的、効率的病院運営、4、魅力ある病院、信頼される病院、5、地域の基幹的病院としての位置づけ、6、医療スタッフの確保、この6つ行動目的に沿って実践していった。その中身については資料ⅠのP1～7まで、と資料ⅡのP1～4までを参照。

感想

当病院の基本理念の下、福知山市をはじめ舞鶴市、綾部市の3市の面積約1240Km²、人口約204,000人、さらに兵庫県丹波地方にも及び広大な医療圏を形成し、基幹的総合病院を目指す、との事。

医療スタッフの確保を考え、待遇改善、支援制度の充実に努めると共に、医師から見て魅力ある、信頼される病院として指導医の充実や、専門医、研修医に魅力ある指導プログラムを図り研修医が全国の大学から応募してくる状況となった。

何よりも医療スタッフが集まってこそ医療の質が向上し、業務改革や施設基準を満たすことにより加算をとることが可能になると感じられる。

施設や医療機器設備の更新、病院機能の向上を図らなければならないことは持論だが、看護学校の併設、看護助手、介護福祉士の配置、院内保育所の設置等々、本市が見習わなければならないことが山積している、と感じた。

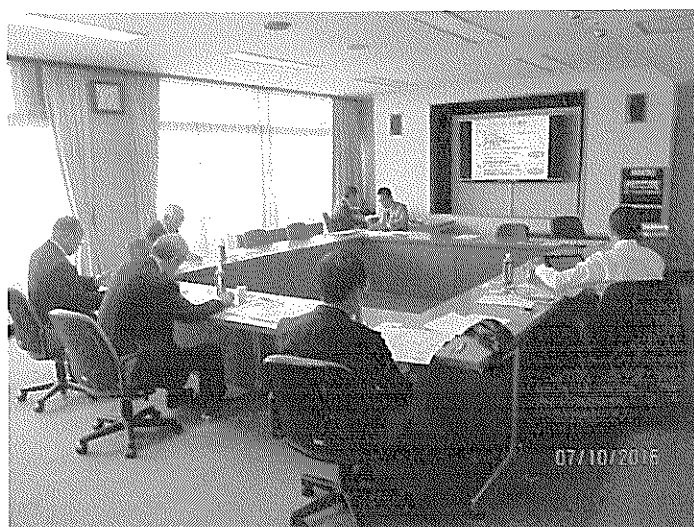
二日目

視察場所 : 愛知県美濃加茂市
視察事項 : 美濃加茂市アニュアルレポート公表について
視察日時 : 平成28年10月7日 午後1:00～3:00

市の概要 人 口 55,951人
面 積 74.81km²
広 ば う 東西11.6km 南北13.8km
沿 革 岐阜県の中南部に位置し、木曽川沿いに中山道の宿場町として有名な太田宿を中心に栄えたところである。昭和29年・加茂郡太田町など8ヶ町村が大同団結で美濃加茂市が誕生
進出企業 ヤマザキマザックマニュファクチャリング(株)、名北工業(株)、(株)モンテール美濃加茂工場、(株)日立情映デック岐阜工場、ミツカン(株)岐阜工場など、大企業が立地するなど、岐阜県でもトップクラスの製造出荷額を誇っている。



旧中山道、宿場町の面影を残す家並



研修風景

視察研修

司 会 梅村真一議会事務局長の進行

市議会議長、山田 栄氏より歓迎のご挨拶を戴き、研修に入る、説明は経営企画部財政課課長補佐森川英司氏の説明とプロジェクターの画面および資料に基づき説明を受ける。詳細については資料ⅢのP 1～P 18を参照されたい。

感想

美濃加茂市のアニュアルレポートは、財政（公会計）に特化した資料でなく1年間のあゆみ、重点方針、事業別行政コストなど市民にわかり易く示し、会計知識がなくても簡単に理解できるものとし、わかり易い財政情報として複式簿記の導入と、事業別コストの作成公開は、人件費、減価償却費を含めたフルコスト情報の開示となっている。

市民にとっては、初めてその事業や施設などに要する経費を正しく把握し、その事業が適切かどうか判断できるようになる。

職員にとっては、コストを意識して政策を考えるようになり、事業コストの見直しや、市民負担について議論ができるようになる、とのことであった。

少子高齢化がますます進展する現在、あきる野市は582億円を超える借金がある、にもかかわらず公共施設管理経費でさらに増大すると思われる。

市民に財政状況を正しく、わかり易く理解していただくためには、アニュアルレポートは素晴らしいと感じた。

報告者 奥秋 利郎